

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入は下記のおお客様ご相談窓口参照)

部品名	部品番号	説明
ごはん容器パッキン スープ容器パッキン	BB294021M-00	○○表示は部品色柄記号です。 お求めの際は製品の色柄記号 までご指定願います。 (底面シールに表示) <表示例> SZ-DA03:GL ←色柄記号
スープ容器弁パッキン	561656-00	
はし箱セット(はし箱・はし)	567707-○○	

- ごはん容器パッキン・スープ容器パッキン・スープ容器弁パッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 容器セットなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター  **0570-011874**

ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ……………Tel (06)6356-2451
 - ファクシミリでのお問い合わせ……………Fax (06)6356-6143
- 製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社

SZ-DA / D

ZOJIRUSHI

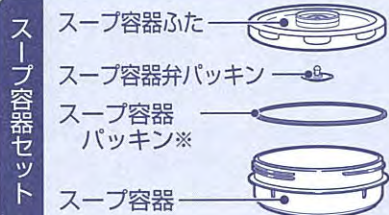
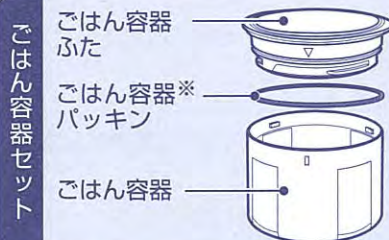
家庭用

保温弁当箱 おべんと

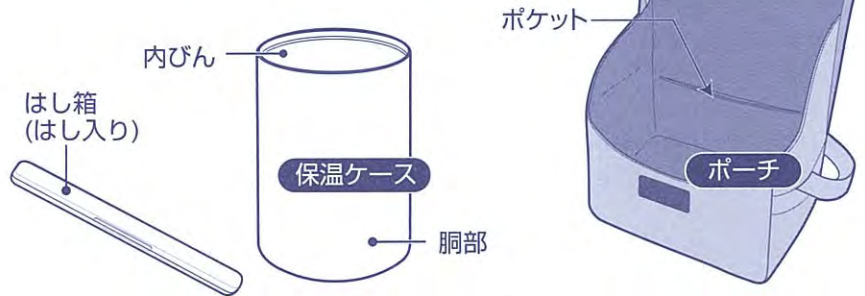
SZ-DA 型

取扱説明書

各部のなまえ



※ごはん容器パッキンとスープ容器パッキンは共通部品です。



● 容器は必ずスープ容器セット→ごはん容器セットの順で保温ケースに入れてください。

ご使用前に必ずお読みください。そして大切に保管してください。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや内容物の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために次のことは、必ずお守りください。

**乳幼児の手の届くところには置かない
また、いたずらには十分注意する**
やけどやけがなど危険です。

食品の保温以外には使用しない

ポーチの持ち手を持って振り回さない
けがや損傷など危険です。

**火を通したおかず類は、冷ましてから
おかず容器に入れる**
熱いままふたをすると腐敗の原因になります。
熱いままふたをすると容器ふたが変形したり、
内容物が漏れる原因になります。

**ごはん容器・おかず容器にスープ類を
入れない**
内容物が漏れる原因になります。

**ごはん・スープ類・おかずを保温ケースに
直接入れない**
さびが発生する原因になります。

**おかず容器には生ものや乳製品など変質・
腐敗しやすい物は絶対に入れない**
腐敗ガスの圧力で、容器が破損や変形する
原因になります。

ごはんやおかず類は、できるだけ早く(6時間以内)食べる
このとき、ごはん・おかず類は一度に食べきる 腐敗の原因になります。

内容物を長時間保存しない 腐敗の原因になります。
また、生ものや乳製品など変質・腐敗しやすい物の保温はしない
腐敗ガスの圧力で、容器が破損や変形する原因になります。

電子レンジで各容器の内容物を加熱するときは次の点を守ること

- 各容器のふたは、はずしてから加熱する ふたを加熱すると変形や破損の原因になります。
- 保温ケースを入れない 火花が飛び危険です。
- 複合電子レンジのオーブングリル機能で使用しない
他の料理でオープン・グリルを使用したあとレンジで加熱する場合は、
庫内が冷めてから使用する 容器が変形し故障の原因になります。
- 各容器を電子レンジで空だきしない 容器が変形し故障の原因になります。
- 油類、糖分の多い食品を長時間加熱しない 高温になり容器が変形し故障の原因になります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

**保温ケース外側の底に貼っているシール
は絶対にはがさない**
さびや穴あきなど故障の原因になります。

**内容物で保温ケースが汚れたときは
できるだけ早くふき取る**
さびや穴あきなど故障の原因になります。

**ストーブやコンロなど火のそばに近づけ
ない**
変形や変色の原因になります。

直射日光のあたる場所に長時間放置しない
変色する原因になります。

製品の横置きはしない
内容物が漏れる原因になります。

**すべてのパッキンは必ずつけた状態で
使用する**
内容物が漏れる原因になります。

**炊き込みごはんや焼き飯など、具や調味料
を加えて炊いたごはんは入れない**
腐敗の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、
使用しない 製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない さびや穴あき(本体内側)など故障の原因になります。
- 煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。
- 丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

ご注意とお願い

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、保温ケースの
ステンレス表面がへこみ、保温性能が
低下することがあります。

製品は必ず専用ポーチに入れる
専用ポーチを使用しない場合、保温効力が
下がる原因になります。

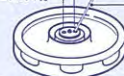
**保温ケースの絵柄をつめや固いもので
ひっかいたり、こすったりしない**
はがれる原因になります

ポーチは通気性の良い場所に保管する
湿度の高い状態はシワの原因になります。

**缶やびんなどを保温ケースに入れ
ない**
変形し、故障の原因になります。

**だし入りみそを使ったみそ汁をスープ容器に入
れると、スープ容器が膨張し、スープ容器ふたが
開かなくなることがあります。そのときは、
スープ容器ふた中央部の穴をつまようじのうしろ
など先のとがっていない細い棒で弁パッキンを
破らないようにつき、内圧を抜いてください。
(右図参照)**

〈スープ容器・ふた中央部〉
穴
(2カ所) つまようじ
など



**使用後は必ず容器やパッキンをきれいに
洗う**
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因にな
ります。また内容物が漏れる原因になります。

**製品専用の部品以外は取り付け
ない**
漏れや故障の原因になります。

**においの強い物や色素の濃いおかず類
(ほうれん草・たくあん・しそ・にんじん
などの有色野菜)はラップフィルムや
クッキングホイルに包んで入れる**
直接入れるとにおいがついたり、色素が
しみ込んで変色する原因になります。

**ポーチは洗濯機で洗ったり、水洗いは
しない**
生地が傷んだりコーティングなどがはが
れる原因になります。

●お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

使い方

●ご使用前に、各容器やはしなどをぬるま湯で十分に洗ってください。

1 各容器を取り出す

各容器を保温ケースから取り出す



2 予熱する

- ①保温効果が高めるために、あらかじめ保温ケース・ごはん容器・スープ容器に熱湯を少量入れ、1～2分あたためる
- ②予熱後はその湯を捨て、水気をふき取る



3 スープ容器にスープ類を入れる

スープ容器ふたを開け、熱いスープやみそ汁などをスープ容器の約8分目まで入れたら、きっちりとふたを閉め、保温ケースに入れる

- スープ容器ふたにスープ容器パッキンと弁パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。

4 ごはん容器にごはんを入れる

ごはん容器に炊きたての熱いごはんを入れてふたをし、保温ケースにセットする

- ごはん容器ふたを閉めるときは、一度固くなりますが、ごはん容器ふたの▼印をごはん容器の左側のI印の位置まで回して、きっちりと閉めてください。

ごはんの量は図のラインより下までにしてください。



- 容器は必ずスープ容器セット→ごはん容器セットの順で保温ケースに入れてください。

5 おかず容器におかずを入れる

- ①おかず容器ふたをつまみの部分から押し上げるようにして開ける
- ②おかずを入れ、おかず容器ふたとおかず容器のふちをかみ合わせながら、中の空気を押し出すように閉める



6 ポーチに入れる

保温ケースにセットしたごはん容器セットとスープ容器セット、おかず容器セットをポーチに入れる

- はし箱はポーチの内側についているポケットに入れてください。



- かばんなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために、本体を縦に置いてください。



Q&A

症状	原因	処置
保温が効かない	十分に熱いごはん・スープ類を入れてありますか？	ごはん容器とスープ容器には、十分に熱いごはん・スープ類を入れてください。また、あらかじめ予熱をするとより効果的です。
	スープ容器に熱いスープ類を入れずに使用すると、十分に保温出来ないことがあります。保温効果が高めるため、スープ類が不要な場合でも、スープ容器に熱湯を入れるとより効果的です。	
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温効果が高めるために、本体内部に入れている銅箔（アルミ箔）がこすれて出る音です。異常ではありません。	

仕様

品番	SZ-DA03	
ごはん容器(保温米飯容量)	0.31L(0.11L)	
スープ容器	0.2L	
実容量	おかず容器(小)	0.22L×2個
	おかず容器(大)	0.3L×1個

※保温米飯容量は炊く前の米の量です。

お手入れ

●いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

ごはん容器パッキンのはずし方・つけ方

●はずし方

ごはん容器ふたの切り欠き部につまようじなどを、差し込みはずす

切り欠き部



●つけ方

ごはん容器パッキンの凸部が外側になるように、ごはん容器ふたの溝に確実に取りつける



セットしたあと、外側から中心へ向かって指で押さえる

断面図



スープ容器パッキンのはずし方・つけ方

●はずし方

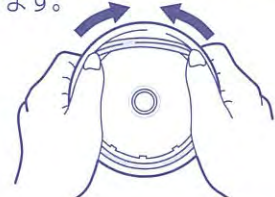
スープ容器のパッキンは、つまようじなどで、スープ容器ふたの切り欠き部より、パッキンの内側からはずしてください。



切り欠き部

●つけ方

つける場合は両側から押しながらつけます。



スープ容器弁パッキンのはずし方・つけ方

スープ容器の弁パッキンは、スープ容器ふたの中央についています。はずすときは、図のように弁パッキンをつまんではずしてください。

- お手入れ時、取りはずしたあとは、元どおりにセットしてください。
- はずすときツメなどで、弁パッキンを傷つけないようご注意ください。



- パッキンを取りつけ後、ねじれたり、ふくれた箇所のある場合は指先で均等になるよう正しく直してください。ねじれたり、ふくれた状態のまま使用すると、内容物が漏れる原因になります。
- ごはん容器パッキンとスープ容器パッキンは共通部品です。

おかず容器セット

ごはん容器
スープ容器
はし箱・はし

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤に浸して洗い、水気をよくふいて乾燥させる

- 乾燥の際は、ふたをしないで乾燥させてください。
- スープ容器パッキン・スープ容器弁パッキンは、ご使用ごとにはずして洗ってください。
- スープ容器パッキン・スープ容器弁パッキンは、忘れずに取りつけてください。

保温ケース

ごはん容器ふた

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジなどに含ませて洗う
 - ②水で流し洗いをする
 - ③乾いた柔らかい布で水をふき取る
- つけ洗いはしないでください。内部に水が入り出なくなることがあります。
 - ごはん容器パッキンはご使用ごとに、はずして洗ってください。
 - ごはん容器パッキンは、忘れずに取りつけてください。

ポーチ

- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ汚れをふき取る
- ポーチの内面には、はっ水加工生地を使用しておりますが、防水ではありません。はっ水性は使用しているうちに低下します。また生地に傷がついたりすることで、はっ水性が低下する場合があります。
 - エタノールやアルコールを含む洗剤は使用しないでください。

においがついた場合の処置

長時間、汚れたままで置いたり洗い方が不十分な場合、いやなにおいが発生したり、樹脂が変色します。においがついてしまった場合は、次のように処置してください。

保温ケース内側・ごはん容器セット
おかず容器セット

十分に洗ったあと、水気をふき取り風通しの良い場所に置き、日光で1～2時間乾燥させる

スープ容器セット

2～3分煮沸してから同様に乾燥させてください。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
 - 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
- 本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

絶対にやめてね



- 長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。製品を損傷する原因になります。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 保温ケースは丸洗いでできますが、つけ洗い（水中に放置）はしないでください。
- 保温ケースを丸洗ったあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。水滴のあとやさびが発生する原因になります。